

# にぎわい・そうぞう

(仮称) まち旅博覧会のプレ開催 など

「にぎわい・そうぞう」については、人々が楽しく交流する元気なまちづくりを進めます。大学交流センターでは、開館10周年を記念したシンポジウムを開催するほか、カルチャーパススポーツ事業を新たに実施します。

産業振興については、今年度に策定する「西宮市都市型観光推進計画」に基づき、まち歩きや体験交流型プログラムを全地域で実施する「(仮称)まち旅博覧会」を今年度にプレ開催するなど、西宮の多様な魅力を発信し、地域経済の活性化を図っていきます。また、今年度に実



にぎわいみせる「西宮酒くらルネサンスと食フェア」

実施した産業実態調査の結果に基づき、「第2次西宮市産業振興計画」を策定し、さらに、地域経済の基盤強化を図るため、企業立地促進法に基づく基本計画の策定に向けて取り組み、企業

定着・立地の促進を図ります。阪神・淡路大震災の影響により、平成7年春夏と平成8年春の高校野球大会の甲子園出場選手に対し、記念品贈呈事業が実施できませんでした。改めて、当時の球児たちに記念品を贈呈し、震災からまちの復興をなし得たことを伝えるとともに、本市の観光PRにもつなげていきます。

西宮都市管理株式会社に対しては、これまでの反復・継続的な短期貸付による支援を長期貸付等に改め、経営基盤の強化が図られるよう指導監督を行っていきます。

厳しい雇用情勢が続く中、県の基金を財源とする緊急雇用対策を実施し、引き続き、若年者等就労支援などに取り組んでいきます。

# 計画の推進

西宮版事業仕分けの実施 など

「計画の推進」については、改革を継続し市民主体のまちづくりを進めます。

行政経営改革の推進においては、西宮版の事業仕分け「ザ・チェック!西宮」をモデル的に実施します。事務事業を外部の視点で評価し、改善につなげる

とともに、職員の意識改革を図っていきます。また、補助金について、学識経験者等の第三者による評価を行い、補助金制度の再構築に取り組みます。

また、子育て支援の充実や保健衛生の施策を総合的・計画的に推進するため、健康福祉局の組織体制を強化していきます。

電子自治体の推進については、「第3次西宮市情報化推進計画」に基づく施策の展開を図り、総合住民情報システムの最

度負担分を一括償還します。公共施設の適正な維持管理や全市民的な配置などを検討する公共施設マネジメントについては、今年度に取りまとめとめる公共施設白書を踏まえ、施設の最適化を目指した基本方針の検討および作成に向けた取り組みを進めていきます。

住民基本台帳カードの利活用については、全国のセブーンレブン内キオスク端末による住民票の写しや印鑑登録証明書の交付を本格実施し、市民サービスの向上と効率化を促進していきます。

また、子育て支援の充実や保健衛生の施策を総合的・計画的に推進するため、健康福祉局の組織体制を強化していきます。

また、子育て支援の充実や保健衛生の施策を総合的・計画的に推進するため、健康福祉局の組織体制を強化していきます。

# 教育委員会 行政方針

教育委員会は、新年度も、第4次西宮市総合計画の基本目標である「ふれあい 感動 文教住宅都市・西宮」の下、教育推進の理念として「夢はぐくむ教育のまち西宮」を掲げ、教育の振興に取り組んでいきます。

教育は、人格の完成を目指す平和で民主的な国家および社会の形成者を育成する普遍的な営みであり、西宮市では、昭和38年の「文教住宅都市宣言」に象徴されますように、教育に寄せる市民の皆さんの熱

い思いに支えられながら、教育の発展に尽くされた先人の大きな努力の積み重ねにより、今日の教育環境を築き上げてきました。

# 学校教育へ 自主・自律の学校へ

学校教育においては、学校・家庭・地域の緊密な連携のもと、総がかりで、児童・生徒一人ひとりの個性や特性を生かし、育むとともに、集団生活を

通して自己を尊重し、将来において社会的に自己実現ができるよう、「生きる力」の醸成に、より一層努めていきます。

また、校園長のリーダーシップの下、子どもや地域の実情に応じた創意工夫ある教育活動を展開する「自主・自律の学校」を目指します。

子どもたちが未来に向かってたくましく生きていくために、育ちや学びの連続性を踏まえた教育の充実を求め、校種間の連携による一貫教育を進めていきます。今年度は、義務教育に焦



昨年4年ぶりに再開された小学校連合体育大会。子どもたちの「生きる力」の醸成に努めます

# 社会教育へ 地域との連携を深め

社会教育においては、社会の変化に伴う市民のさまざまな課題の解決につなげる学習機会と地域における人と人との交流の場を提供するとともに、その支援の取り組みを進めていきます。

習成果が社会に還元される仕組みづくりを目指し、学校、家庭及び地域との連携を図りながら、学校教育、家庭教育への支援の取り組みを進めていきます。

また、教育行政の推進に際しては、市民の皆さんと情報を共有し、教育をめぐる諸課題について細かく心を配りながら、解決するよう努めていきます。

また、教育行政の推進に際しては、市民の皆さんと情報を共有し、教育をめぐる諸課題について細かく心を配りながら、解決するよう努めていきます。

また、教育行政の推進に際しては、市民の皆さんと情報を共有し、教育をめぐる諸課題について細かく心を配りながら、解決するよう努めていきます。

地域の教育力を生かした宮水ジュニア事業で、子どもたちは異学年・異世代交流を図ります

また、地域で取り組まれている子どもの居場所づくりにつながる活動を支援できるよう検討を進めていきます。スポーツ振興については、市民の生涯にわたる健康保持・増進や体力向上のため、地域におけるスポーツ環境の整備・充実に努め、スポーツ振興基本計画の策定に着手します。図書館では、山口分室において地域に拠点館がないという立地条件に配慮し、日曜日の開室を実施します。公民館では、地域の教育力を活用しながら、宮水ジュニア事業を含む主催事業等において、食育などの課題に関する多様な講座を実施します。文化財については、古墳時代後期の市指定史跡である老松古墳の平成23年秋からの公開に向けた整備に取り組むとともに、国指定史跡西宮砲台の保存管理計画を策定するなど、史跡の保存に努めていきます。

整理していきます。高等学校教育では、大学の理数系学部等と連携する西宮版SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)による理数教育推進事業を実施するとともに、地域に学ぶ「西宮学」がさらに発展できるよう支援していきます。

特別支援教育では、引き続き、全小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、コーディネーターを中心とした学校体制の充実を図ります。また、西宮養護学校の通学バスについては、一部を中型バスからマイクロバス2台に変更するなど、きめ細かな通学経路への対応を図り、児童生徒の安全・安心に配慮していきます。

幼稚園教育では、「西宮市幼児期の教育・保育審議会」での審議を見極めつつ、就学前教育全体の視点から、市立幼稚園の果たす役割や適正配置について

また、西宮市の小中一貫教育の推進を図っていきます。確かな学力を身に付けるため、本市独自の学力調査を拡充し、PDCAに基づき、きめ細かな指導と評価の充実を図り、一人ひとりの学力の向上に努めていきます。また、小学校の新学習指導要領の全面実施の年を迎え、理科基礎学力の一層の定着と理科への興味・関心を育むため、全小学校に、高学年の観察、実験等に関する理科支援員を配置していきます。